



TOPIX

—最近の出来事—

行政視察の報告

核の安全神話がかろうとも崩れて原子力発電の是非が議論されているいま、自然エネルギーが注目をされています。平成18年に新エネルギービジョンを策定していち早く太陽光や水力発電に取り組んでいる山梨県北杜市を視察しました。

国が行う太陽光発電の研究プロジェクトに民間企業と提携をして参画、国の事業終了後は研究施設の無償譲渡を受け年間3000万円の収入がある市営の太陽光発電所として稼働中です。また、山岳地帯という地形を活かして小水力発電にも取り組んでいました。国の補助、官民パートナーシップの有効活用が財政面で厳しい地方自治体の救世主になっていました。

また、農業のあり方について基本条例を定めた会津若松市を視察しました。



多くの太陽光パネルが並んだ市営のメガソーラー発電所(10月)

嬉野市議会報の表紙

議会だよりの編集について、市民の皆さんに親しみやすく作られている嬉野市を視察



全国の若手議員でつくる超党派の会、全国若手市議会議員の会を卒業しました。



年に一度の恒例のゴルフコンペを開催、今年で8回目になりました。



勝ちゃんのでてく雑記

先日、スマートフォンのメールに不具合があった事がニュースで流れていました。

いま、いろんな形のスマートフォンが爆発的に売られています。今年の7月にアナログ放送が終了をして地デジ化されました。暮らしに役立つ今までに無い様々なサービスを受ける事が出来る事や、世界の流れでもあり、日本の未来戦略だと言う事で進められていますが、一方では、目には見えませんがたくさんの電波が空間を飛んでいて、その空間がいっぱいになってきたためにより効果的なデジタルにする必要がある事も地デジ化になった要因の一つです。地デジになって困った事はテレビを買い替えなくては行かなかった事。

よかった事は、暮らしの便利サービスを知らないのではありませんが、あえて言うならNHKの朝イチでテレビ投票が出来た事と、新聞の番組表を見なくても良くなったくらいですか？

電波を効率よく使うために進めてきた地デジ化です。スマートフォンを普及させるためではないんじゃないかな～と感じるのはIT音痴の私だけでしょか？



近況報告
最近よく料理をします。とは言うものの作る料理は鍋オンリ、、、、、、
いろんな種類の鍋のつゆがバックに入って売っているので大変便利です。
野菜を切って、肉や魚を入れて煮るだけ。
でも、これって料理って言うてもいいのかな～？

井上勝彦プロフィール

昭和41年2月生まれ。うお座 A型。

- 県立浮羽高校(現在 浮羽究真館)35回卒
 - (株)プリンスホテル
 - (社)みい青年会議所 第31代理事長
 - 平成17年4月より小郡市議会議員
- 現在 議席番号9番 政党は無所属
会派は清和会(幹事長)
都市経済常任委員会 委員
議会運営委員会 委員
編集委員会 委員長 他

キャプテン@九州 会員
NPO法人 元気っ子未来塾 監事
明るい社会づくり運動県南地区協議会 常任理事

小郡市議会議員

井上勝彦後援会

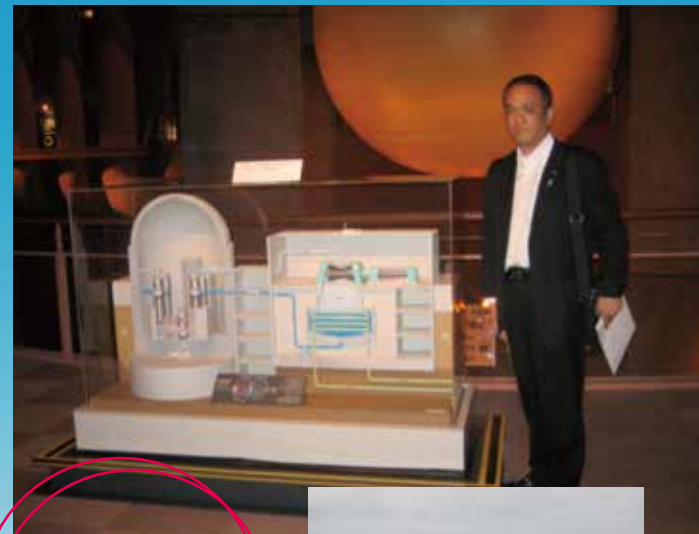
勝ちゃんタイムズ

KATCHAN TIMES

No.15 New Year 2012

一陽来復

希望あふれる
一年になりますように
平成二十四年元旦
井上勝彦



玄海原子力発電所へ、原発の安全神話について視察(9月)



災害復旧について、小郡駐屯地富井団長を講師に会派で勉強会(10月)



八重洲会の皆様に教養講座の中で市政報告をさせて頂きました。(10月)



9月議会報告

9月1日～27日までの27日間の会期で開催しました。
平成22年度に市を運営していくために使われたお金について、決算審査特別委員会を設置して審査をしました。
決算の認定について、議会からの提言をつけた附帯決議での認定となりました。

審議された主な案件

議案第34号

平成23年度 一般会計補正予算（第2号）の承認について
1億3100万円を追加した176億4100万円とする

主な歳出

生活保護扶助費 9200万円
景気低迷により生活保護を受ける方が増加したためです。

道路新設改良費 270万円
西鉄小郡駅に障害者用車寄せを設置するものです。



車寄せの整備予定地(西鉄小郡駅)

認定第1号

平成22年度 一般会計決算認定について
前年より市税などの自主財源が約10億円減少し、地方交付税や市債（借金）などの依存財源が増加している。
（議会からの提言）
補助金の執行に当たっては施策の効果判定を十分に実施して、各団体の活動評価に基づき適切に行う事を附帯して決議をしました。

認定第2号

平成22年度 国民健康保険事業特別会計決算認定について
単年度では約8000万円の黒字だが、累計では約4億5000万円の赤字となっている。
また、保険給付費（診療の支払額）が前年より約7000万円増えてきていて非常に厳しい運営である。
（議会からの提言）
国保会計の健全化を図るためにも健康づくりに関する施策を推進する必要があり、保健指導やレセプト分析にあたる保健士、管理栄養士の増員に努める事を附帯して決議をしました。

12月議会報告

11月30日～12月19日までの20日間の会期で開催しました。
累積赤字が約4億5千万円の国民健康保険特別会計の健全化のため、また大幅に伸びている医療費の増加のため、大変残念ですが平成22年に続き税の引き上げをしました。
健康診断や保健指導などで病気の重症化を防ぎ、いつまでも健康で過ごせるように更なる予防事業への取り組みが必要です。

審議された主な案件

議案第45号

国民健康保険税条例の一部改正について

議案第47号

平成23年度 一般会計補正予算（第3号）の承認について
2億8600万円を追加した179億2800万円とする

主な歳出

心身障害者福祉費 5411万円
障害者の施設訓練や地域での生活を支援するものです。

庁舎管理費 290万円
来年4月の機構改革で新しく子育て支援課設置のために庁舎を改修するものです。

道路維持費 500万円
道路の維持補修費で、要望が多く当初予算では足りないためです。



駅前広場の有効活用と放置自転車対策について

質問 小郡市は平成2年度に駅前広場の整備を行っていますが、
①放置自転車に対する取組みについて。
②モニュメントの整備について。
③路線バスの廃止による交通手段の変化等で駅前広場の利用形態が変化し、ロータリーの整備について市民の要望がありますが、市の対応についてお尋ねします。

市長答弁 ①駐輪指導員による駐輪指導の強化や自転車利用者へのモラル向上に向けた啓発等を行ってきましたが、十分な効果が得られていないので、今後対策検討会議を開催し条例の制定を含めて検討していきます。
②モニュメントの噴水を残すのか、あるいは花壇への再整備をするかについて、現状を踏まえて検討します。
③より有効に活用できるよう現在使用されていないバス停の撤去をバス会社と協議したいと考えています。
今後もより有効に駅前広場を利用していただけるよう努めます。

公共施設の使用料について（減免制度の復活について）

質問 平成20年4月に廃止した減免制度について、近隣の鳥栖市、筑紫野市には減免制度があり、小郡市でも減免制度の復活を多くの市民の皆さんが望んでいますが、市の見解についてお尋ねします。

教育長答弁 小郡市行政改革行動計画に基づいて減免措置の見直しが行われ廃止されました。厳しい財政状況の中、財源確保を図り、公共施設の維持改修を計画的に行っていくために見直し、改定を行っています。

要望 減免制度の廃止による行財政改革の効果について、分析資料がないということですが、廃止前後の年度の推移を見れば、約200万円の効果が推定されます。文化会館は市民の財産であり、それを教育委員会が管理運営をしている。市民の皆さんが使いやすいように運営していく事が非常に大切です。減免制度の費用対効果をよく分析して、市民本位の運営を強く要望します。

会報誌のスペースの都合で随分かつまんでご紹介をしましたが、
詳細は小郡市のホームページをご覧ください。

小郡市のホームページ

議会中継をクリック

質問内容など議会の様子を映像で見ることが出来ます。

①→②→③



市議会会議録をクリック

質問内容が一言一句まで詳細に掲載されています。

④→⑤



※映像をご覧になるには、Microsoft社のWindows Media Playerが必要です。
こちらよりインストールできます。